

WILL受注出荷モジュール+M Ver7.x

# Access2016共存問題を回避するAccess導入手順

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

～ 動かないシステムを作らない為にぜひ知っておいていただきたい事 ～

— 第2版 —

2017年3月18日

(株)アマダ

(株)ケーブルソフトウェア

# 1 共存問題

- ①Office2016製品(DL版)とAccess2013(DL版)は共存できない
- ②Office2016製品(DL版)とAccess2016(VL版)は共存できない
- ③Office2016製品(DL版)とAccess2016(RT版)は共存できない

DL版:ダウンロード版の略称。一般消費者向けのライセンス。アマゾンなどで販売。注文するとメールでプロダクキーが送られてくる。クイック実行形式のインストーラ。  
 VL版:ボリュームライセンスの略称。企業向けのライセンス。特徴は旧バージョン利用権が付いていること。アマダ注文時のライセンス。Setup形式のインストーラ。  
 RT版:ランタイム版の略称。Access製品版で作成したプログラムを動かす目的で使用します。無償で利用できます。Setup形式のインストーラ。

○:インストール可 ×:インストール不可

お客様環境	Access 2013			Access 2016		
	DL版	VL版	RT版	DL版	VL版	RT版
Office 2016 Personal等(DL版)	×①	○	○	○	×②	×③
Office 2013 Personal等(DL版)	○	○	○	○	○	○
Office 2010 Personal等(DVD版)	○	○	○	○	○	○

以前は共存不可でしたが2016年10月に共存可能になりました。  
<https://www.microsoft.com/ja-jp/office/2016/attention2.aspx>

(注1)マイクロソフトは技術的な問題が発生する可能性があるとして異なるバージョンの共存利用は「動作保証外」としております。

(注2)ここで言うPersonal等はAccessを含まない製品を指します。(Accessを含む製品であれば共存問題そのものが発生しません)

# 2 事前のOffice環境調査

導入前にOffice環境を調査し、行列・ヨコ列のセルでのAccess導入要件を把握してください。

## ①保有Office調査

アプリサーバー …(受注出荷・見積)	<input type="checkbox"/> Officeは入れるがバージョンは未定
	<input type="checkbox"/> Office2016Pro等 (Access付)
	<input checked="" type="checkbox"/> Office2016Personal等 (Access無)
	<input type="checkbox"/> Office2013Pro等 (Access付)
	<input type="checkbox"/> Office2013Personal等 (Access無)
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPro等 (Access付)
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPersonal等 (Access無)
	<input type="checkbox"/> Officeを入れない
クライアント …(受注出荷・見積・進捗)	<input type="checkbox"/> Officeは入れるがバージョンは未定
	<input type="checkbox"/> Office2016Pro等 (Access付)
	<input checked="" type="checkbox"/> Office2016Personal等 (Access無)
	<input type="checkbox"/> Office2013Pro等 (Access付)
	<input checked="" type="checkbox"/> Office2013Personal等 (Access無)
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPro等 (Access付)
	<input checked="" type="checkbox"/> Office2010以前のPersonal等 (Access無)
	<input type="checkbox"/> Officeを入れない

## ③ヨコ列決定

アプリサーバー		クライアント							
条件	推奨	Officeは入れるがバージョンは未定	Office2016 Pro等 (Access付)	Office2016 Personal等 (Access無)	Office2013 Pro等 (Access付)	Office2013 Personal等 (Access無)	Office2010以前のPro等 (Access付)	Office2010以前のPersonal等 (Access無)	Officeを入れない
Officeは入れるがバージョンは未定	① ②	① ②または①または②	そのまま利用	④ ⑤	⑥ そのまま利用	⑥ ⑥	⑦+⑧ ⑦+⑧	⑧ ⑧	⑧ ⑧
Office2016Pro等 (Access付)	そのまま利用	①	そのまま利用	④	⑥	⑥	⑦+⑧	⑧	⑧
Office2016Personal等 (Access無)	④	①	そのまま利用	④	⑥	⑥	⑦+⑧	⑧	⑧
Office2013Pro等 (Access付)	そのまま利用	①または②	そのまま利用	⑤	そのまま利用	⑥	⑦+⑧	⑧	⑧
Office2013Personal等 (Access無)	⑤または⑥または⑩	①または②	そのまま利用	⑤	そのまま利用	⑥	⑦+⑧	⑧	⑧
Office2010以前のPro等 (Access付)	⑦+⑧または⑦+④ ⑦+⑤または⑦+⑩	① ①または②	そのまま利用	④ ⑤	⑥ そのまま利用	⑥ ⑥	⑦+⑧ ⑦+⑧	⑧ ⑧	⑧ ⑧
Office2010以前のPersonal等 (Access無)	③または④ ⑤または⑩	① ①または②	そのまま利用	④ ⑤	⑥ そのまま利用	⑥ ⑥	⑦+⑧ ⑦+⑧	⑧ ⑧	⑧ ⑧
Officeを入れない	③または④ ⑤または⑩	① ①または②	そのまま利用	④ ⑤	⑥ そのまま利用	⑥ ⑥	⑦+⑧ ⑦+⑧	⑧ ⑧	⑧ ⑧

## ②タテ列決定

- ① Office2016Pro (DL版) 購入 (注1)
- ② Office2013Pro (DL版) 購入
- ③ Access2016 (VL版) 購入
- ④ Access2016 (DL版) 購入
- ⑤ Access2013 (DL版) 購入
- ⑥ Access2016 (DL版) 購入・MS連絡・Access2013 (DL版) インストール
- ⑦ Access2010をアンインストール
- ⑧ Access2016 (RT版) インストール
- ⑨ Access2013 (RT版) インストール
- ⑩ Access2016 (VL版) 購入・Access2013 (VL版) インストール
- ⑪ Office2013Personal (DL版) 購入・Access2013 (RT版) インストール
- ⑫ Office2016Personal (DL版) 購入・Access2013 (RT版) インストール

④導入要件 (理解に困ったらケーブルソフトに連絡を！)

# 3 保有Office調査

まずは保有Officeを調査してください。

アプリサーバー …(受注出荷・見積)	<input type="checkbox"/> Officeは入れるつもりだがバージョンは未定	いずれか一箇所にチェック
	<input type="checkbox"/> Office2016Pro等 (Access付)	
	<input type="checkbox"/> Office2016Personal等 (Access無)	
	<input type="checkbox"/> Office2013Pro等 (Access付)	
	<input type="checkbox"/> Office2013Personal等 (Access無)	
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPro等 (Access付)	
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPersonal等 (Access無)	
	<input type="checkbox"/> Officeを入れない	
クライアント …(受注出荷・見積・進捗)	<input type="checkbox"/> Officeは入れるつもりだがバージョンは未定	複数個所にチェック可
	<input type="checkbox"/> Office2016Pro等 (Access付)	
	<input type="checkbox"/> Office2016Personal等 (Access無)	
	<input type="checkbox"/> Office2013Pro等 (Access付)	
	<input type="checkbox"/> Office2013Personal等 (Access無)	
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPro等 (Access付)	
	<input type="checkbox"/> Office2010以前のPersonal等 (Access無)	
	<input type="checkbox"/> Officeを入れない	

(注1) Office365Solo(個人向け)またはOffice365Business/BusinessPremium(法人向け)はOffice2016Proでチェックしてください。

(注2) お客様が(VL版)Office導入時はケーブルソフトに連絡願います。

# 4 お客様説明

(※)お客様環境が(DL版)の場合です。(VL版)の場合はケーブルソフトに連絡を。

次に行列・ヨコ列のセルでAccess導入要件を確認してください。

アプリサーバー		クライアント							
お客様環境	Access導入要件	Officeは入れるがバージョンは未定	Office2016 Pro等 (Access付)	Office2016 Personal等 (Access無)	Office2013 Pro等 (Access付)	Office2013 Personal等 (Access無)	Office2010以前のPro等 (Access付)	Office2010以前のPersonal等 (Access無)	Officeを入れない
Officeは入れるがバージョンは未定	①	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
	②	②または⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨
Office2016Pro等 (Access付)	そのまま利用	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
Office2016Personal等 (Access無)	④	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
	⑩	②または⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨
Office2013Pro等 (Access付)	そのまま利用	⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨
Office2013Personal等 (Access無)	③	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
	⑤または⑩	⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨
Office2010以前のPro等 (Access付)	⑦+③または⑦+④	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
	⑦+⑤または⑦+⑩	⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨
Office2010以前のPersonal等 (Access無)	③または④	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
	⑤または⑩	⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨
Officeを入れない	③または④	①	そのまま利用	④	⑧	⑧	⑦+⑧	⑧	⑧
	⑤または⑩	⑩または⑫	そのまま利用	⑨	そのまま利用	⑨	⑦+⑨	⑨	⑨

① Office2016Pro(DL版)購入(注1)

② Office2013Pro(DL版)購入

③ Access2016(VL版)購入

④ Access2016(DL版)購入

⑤ Access2013(DL版)購入

⑥…欠番

⑦ Access2010をアンインストール

⑧ Access2016(RT版)インストール

⑨ Access2013(RT版)インストール

⑩ Access2016(VL版)購入・Access2013(VL版)インストール

⑪ Office2013Personal(DL版)購入・Access2013(RT版)インストール

⑫ Office2016Personal(DL版)購入・Access2013(RT版)インストール

(注1)「Office2016Personal+Access2016」でも可。こちらの方がOffice2016Proより価格は安い。

# 5 解説

## (事例1)パソコンと共にOfficeも購入する。

### 〔選択肢1〕

サーバー・クライアント共にOffice2016Proを購入。共に同梱のAccess2016を利用。(注1)  
 (Office2016PersonalでAccess2016(RT版)が共存できなくなった為)

### 〔選択肢2〕

サーバー・クライアント共にOffice2013Proを購入。サーバー・クライアント共に同梱のAccess2013を利用。

### 〔選択肢3〕

サーバーにはOffice2013Proを、クライアントにはOffice2013Personalを購入。  
 サーバーはAccess2013(DL版)を、クライアントはAccess2013(RT版)を利用。

### 〔選択肢4〕

サーバーにはOffice2013Proを、クライアントにはOffice2016Personalを購入。  
 サーバーはAccess2013(DL版)を、クライアントは異バージョン混在を承知でAccess2013(RT版)を利用。

選 択 肢	アプリサーバー		クライアント1		追 加 費 用	入 手 可 否
	保有officeなし	動作保証	保有officeなし	動作保証		
1	Office2016Pro(DL版)購入(注1)	○	Office2016Pro(DL版)購入(注1)	○	多	○
2	Office2013Pro(DL版)購入	○	Office2013Pro(DL版)購入	○	多	△
3	Office2013Pro(DL版)購入	○	Office2013Personal(DL版)購入+Access2013(RT版)	○	少	△
4	Office2013Pro(DL版)購入	○	Office2016Personal(DL版)購入+Access2013(RT版)	△	少	△

← 現実的  
選択肢

(注1)「Office2016Personal+Access2016」でも可。こちらの方がOffice2016Proより価格は安い。

## 5 解説

(事例2) 保有Officeは2016Proが2台、2013Proが1台、2010Proが1台。

### 〔選択肢1〕

Office2016Proパソコンをサーバーに利用し、同梱のAccess2016を利用。

クライアント1(Office2016Pro)も同梱のAccess2016を利用。

クライアント2(Office2013Pro)は問題あり。Access2016で作成したアプリをAccess2013で動作させることは不可。  
異バージョン混在(Office2013ProにAccess2016上被せインストール)を承知でAccess2016(RT版)を提案。  
(ちなみに「OfficeProからAccessを抜く…」はOffice2013以降できなくなった)

クライアント3(Office2010Pro)も問題あり。Access2016で作成したアプリをAccess2010で動作させることは不可。  
OfficeProからAccessを抜き、異バージョン混在を承知でAccess2016(RT版)を提案。

### 〔選択肢2〕

Office2013Proパソコンをサーバーに利用し、同梱のAccess2013を利用。

クライアント1・2(Office2016Pro)は、異バージョン動作(Access2013で作成・Access2016で実行)を承知で  
「同梱のAccess2016をそのまま利用」を提案。

クライアント3(Office2010Pro)は、OfficeProからAccessを抜き、異バージョン混在を承知でAccess2013(RT版)を提案。

# 5 解説

(事例2) 保有Officeは2016Proが2台、2013Proが1台、2010Proが1台。

選択肢	アプリサーバー		クライアント1		クライアント2		クライアント3		追加費用
	Office2016Pro	動作保証	Office2016Pro	動作保証	Office2013Pro	動作保証	Office2010Pro	動作保証	
1	同梱のAccess2016をそのまま利用	○	同梱のAccess2016をそのまま利用	○	Access2016(RT版)	△	Access2010アンインストール + Access2016(RT版)	△	なし

選択肢	アプリサーバー		クライアント1		クライアント2		クライアント3		追加費用
	Office2013Pro	動作保証	Office2016Pro	動作保証	Office2016Pro	動作保証	Office2010Pro	動作保証	
2	同梱のAccess2013をそのまま利用	○	同梱のAccess2016をそのまま利用	△	同梱のAccess2016をそのまま利用	△	Access2010アンインストール + Access2013(RT版)	△	なし

(注) 理論上は、アプリサーバーがOffice2010搭載パソコン、クライアントがOffice2013/2016搭載パソコンという組み合わせはありますが、現実的には古いパソコンをアプリサーバーにするケースはありませんから、ここでの解説は省略させていただきます。

## 5 解説

(事例3) 保有Officeは2016Personalが2台、2013Personalが1台、2010Personalが1台。

### 〔選択肢1〕

Office2016Personalパソコンをサーバーに利用し、Access2016(DL版)を購入。  
(Office2016PersonalでAccess2016(VL版)が共存できなくなった為) (注1)

クライアント1(Office2016Personal)も、Access2016(DL版)を購入。即ち、Office2016の数分のAccess2016(DL版)を購入。  
(Office2016PersonalでAccess2016(RT版)が共存できなくなった為)

クライアント2(Office2013Personal)・3(Office2010Personal)は、異バージョン混在を承知でAccess2016(RT版)を提案。

### 〔選択肢2〕

サーバー(Office2016Personal)は、Access2016(VL版)を購入。(VL版)ダウングレード権でAccess2013(VL版)をインストール。  
クライアント1(Office2016Personal)・3(Office2010Personal)は、異バージョン混在を承知でAccess2013(RT版)を提案。

(注1)もし間違えてAccess2016(VL版)を購入してしまった場合、〔選択肢2〕Access2013(VL版)インストールをご検討ください。

## 5 解説

(事例3) 保有Officeは2016Personalが2台、2013Personalが1台、2010Personalが1台。

### 〔選択肢3〕

Office2013Personalパソコンをサーバーに利用し、Access2013(DL版)を購入。

クライアント1・2(Office2016Personal)、クライアント3(Office2010Personal)は、異バージョン混在を承知でAccess2013(RT版)を提案。

### 〔選択肢4〕

サーバー(Office2013Personal)は、Access2016(DL版)をインストール。

クライアント1・2(Office2016Personal)、クライアント3(Office2010Personal)は、Access2016(RT版)を提案。

### 〔選択肢5〕

サーバー(Office2013Personal)は、Access2016(VL版)を購入。

(VL版)ダウングレード権でAccess2013(VL版)をインストール。

クライアント1・2(Office2016Personal)、クライアント3(Office2010Personal)は、異バージョン混在を承知でAccess2013(RT版)を提案。

### 〔選択肢6〕

サーバー(Office2013Personal)は、Access2016(VL版)を購入し、そのままインストール。

クライアント1(Office2016Personal)、クライアント2(Office2016Personal)は、Access2016(DL版)を購入。

クライアント3(Office2010Personal)は、異バージョン混在を承知でAccess2013(RT版)を提案。

…(コスト高になるので通常では考えられない組合せ)

# 5 解説

(事例3) 保有Officeは2016Personalが2台、2013Personalが1台、2010Personalが1台。

選択肢	アプリサーバー1		クライアント1		クライアント2		クライアント3		追加費用	入手可否
	Office2016Personal	動作保証	Office2016Personal	動作保証	Office2013Personal	動作保証	Office2010Personal	動作保証		
1	Access2016(DL版)購入	○	Access2016(DL版)購入	○	Access2016(RT版)	△	Access2016(RT版)	△	多	○
2	Access2016(VL版)購入 →Access2013(VL版) インストール	○	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	○	Access2013(RT版)	△	中	○

選択肢	アプリサーバー1		クライアント1		クライアント2		クライアント3		追加費用	入手可否
	Office2013Personal	動作保証	Office2016Personal	動作保証	Office2016Personal	動作保証	Office2010Personal	動作保証		
3	Access2013(DL版)購入	○	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	△	少	△
4	Access2016(DL版)購入 +MS連絡 +Access2013(DL版) インストール	○	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	△	少	○
5	Access2016(VL版)購入 +Access2013(VL版) インストール	○	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	△	Access2013(RT版)	△	中	○
6	Access2016(VL版)購入	△	Access2016(DL版)購入	○	Access2016(DL版)購入	○	Access2016(RT版)	△	多	○

(注)理論上は、アプリサーバーがOffice2010搭載パソコン、クライアントがOffice2013/2016搭載パソコンという組み合わせはありますが、現実的には古いパソコンをアプリサーバーにするケースはありませんから、ここでの解説は省略させていただきます。

## 6 特記事項

### (1) Office/Access2013入手

2016/09/30現在、一般消費者向け製品であるOffice2013 Pro/Personal(DL版)およびAccess2013(DL版)は入手が困難な状況になっております。

2013等の旧版を利用したい場合は、企業向け製品2016(VL版)を購入し、ダウングレード権で2013(VL版)をインストールするしかありません。(尚、企業向け製品(VL版)は一般消費者向け製品(DL版)に比べて割高です。)

### (2) 同一PC内の異バージョン混在

(例1) Office2016Personal + Access2013(RT版)

(例2) Office2013Pro/Personal + Access2016(RT版)

(例3) Office2010Pro/Personal + Access2013(RT版)

(例4) Office2010Pro/Personal + Access2016(RT版)

マイクロソフトは技術的な問題が発生する可能性があるとして、異なるバージョンの共存利用は「動作保証外」としております。しかしながら、2016/09/30現在、弊社テストでは問題は発生していません。

恒久的に問題なしとは言えませんが、まずは試して頂く価値はあると考えております。

### (3) サーバー・クライアントAccess異バージョン動作

(例1) サーバー(2016)とクライアント(2013) …クライアントは動作しません。(関数が見つからない等のエラー)

(例2) サーバー(2013)とクライアント(2016) …クライアントは動作します。

ただし、後者についても、マイクロソフトは技術的な問題が発生する可能性があるとして、異なるバージョン間の利用は「動作保証外」としております。

しかしながら、2016/09/30現在、弊社テストでは問題は発生していません。

恒久的に問題なしとは言えませんが、まずは試して頂く価値はあると考えております。

# 7 補足事項(ハードチェンジ)

## 事例1 (Ver6→Ver6):「ハードチェンジ・AccessDVDあり」のケース

Ver6でサーバー・クライアントの一部あるいは全部を「Office2016Pro/Personal付きパソコンに買い替えた」シーン。  
手持ちのAccessを利用できるので追加費用はありません。

- ①サーバーには、これまでのAccess2007/2010製品版(DVD)をインストールします。
- ②クライアントには、Access2007/2010(RT版)をインストールします。

	チェンジ前			チェンジ後			備考
	ベース	アドオン	アプリ	ベース	アドオン	アプリ	
アプリサーバー	Office2013 以前の Pro/Personal	Access2007 /2010製品版	6.x	Office2016 Pro/Personal	Access2007 /2010製品版	6.x	手持ちのAccessDVD でインストール
クライアント		Access2007 /2010(RT版)		Office2016 Pro/Personal	Access2007 /2010(RT版)		
	Office2013 以前の Pro/Personal						

(注)マイクロソフトは異なるバージョンの共存利用は「動作保証外」としてありますが、2016/09/30現在、弊社テストで問題は発生しておりません。

# 7 補足事項(ハードチェンジ)

## 事例2 (Ver6→Ver6) : 「ハードチェンジ・AccessDVDなし・(VL版)でダウングレード」のケース

Ver6でサーバー・クライアントの一部あるいは全部を「Office2016Pro/Personal付きパソコンに買い替えた」シーン。  
 Access2007/2010のDVDが見つからない。Access2007/2010は販売終了しており入手できない。  
 Access2016(VL版)購入は必要ですが1本で済みます。

- ①Access2016(VL版)を購入。(アマダでも注文を承れます)
- ②(VL版)ダウングレード権でAccess2007/2010を入手し、サーバーにインストール。
- ③クライアントには、Access2007/2010(RT版)をインストール。

	チェンジ前			チェンジ後			備考
	ベース	アドオン	アプリ	ベース	アドオン	アプリ	
アプリサーバー	Office2013 以前の Pro/Personal	Access2007 /2010製品版	6.x	Office2016 Pro/Personal	Access2007 /2010製品版	6.x	Access2016(VL版)購入 (VL版)ダウングレード権で 2010インストール。
クライアント		Access2007 /2010(RT版)		Office2016 Pro/Personal	Access2007 /2010(RT版)		
				Office2013 以前の Pro/Personal			

(注)マイクロソフトは異なるバージョンの共存利用は「動作保証外」としてありますが、2016/09/30現在、弊社テストで問題は発生しておりません。

# 7 補足事項(ハードチェンジ)

## 事例3 (Ver6→Ver7): 「ハードチェンジ・マイクロソフト推奨・バージョンアップ」のケース

Ver6でサーバー・クライアントの一部あるいは全部を「Office2016Pro/Personal付きパソコンに買い替えた」シーン。  
 お客様は「トラブル発生を極力排除する為、マイクロソフト推奨環境でシステムを構成したい」とのこと。  
 Accessバージョンが変わりますからWILLのバージョンアップが必要です。(別途コンバート費用もかかります)  
 また、サーバー・クライアント共にOffice2016Personalでも製品版Accessを必要としますからAccess購入費用もかかります。

- ①アマダにWILLのバージョンアップを注文。
- ②サーバーは、Proであればそのまま、PersonalであればAccess2016(DL版)をインストール。
- ③クライアントも同様。

	チェンジ前			チェンジ後			備考
	ベース	アドオン	アプリ	ベース	アドオン	アプリ	
アプリサーバー	Office2013 以前の Pro/Personal	Access2007 /2010製品版	6.x	Office2016 Pro	なし	7.x	WILLのバージョンアップ が必要
クライアント		Access2007 /2010(RT版)		Office2016 Personal	Access2016 (DL版)		
				Office2013 以前の Personal	Access2016 (RT版)		

# 7 補足事項(ハードチェンジ)

## 事例4(Ver7->Ver7):「ハードチェンジ・Access2016」のケース

Ver7でサーバー・クライアントの一部あるいは全部を「Office2016Pro/Personal付きパソコンに買い替えた」シーン。  
 Personalの導入台数にもよりますが、全数Access購入費用がかかります。

- ①サーバーは、Proであれば同梱Accessそのまま利用。PersonalであればAccess2016(DL版)をインストール。
- ②クライアントがOffice2016であれば、サーバーと同じ。
- ③クライアントがOffice2013以前ならばAccess2016(RT版)を利用。

	チェンジ前			チェンジ後			備考
	ベース	アドオン	アプリ	ベース	アドオン	アプリ	
アプリサーバー	Office2013 以前の Pro/Personal	Access2013 (DL版)	7.x	Office2016 Pro	—	7.x	追加費用発生
クライアント		Access2013 (RT版)		Office2016 Personal	Access2016 (DL版)		
				Office2013 以前の Personal	Access2016 (RT版)		

# 7 補足事項(ハードチェンジ)

## 事例5(Ver7→Ver7):「ハードチェンジ・Access2013」のケース

Ver7でサーバー・クライアントの一部あるいは全部を「Office2016Pro/Personal付きパソコンに買い替えた」シーン。  
 クライアントが多いので「全数Access購入費用がかかる」は避けたい。

- ①サーバーには、これまでのAccess2013をインストール。
- ②クライアントがOffice2016PRoであればそのまま利用。
- ③クライアントがOffice2016PersonalであればAccess2013(RT版)をインストール。
- ④クライアントがOffice2013以前ならばAccess2013(RT版)をインストール。

	チェンジ前			チェンジ後			備考
	ベース	アドオン	アプリ	ベース	アドオン	アプリ	
アプリサーバー	Office2013 以前の Pro/Personal	Access2013 (DL版)	7.x	Office2016 Personal	Access2013 (DL版)	7.x	
クライアント		Access2013 (RT版)		Office2016 Pro	—		
				Office2016 Personal	Access2013 (RT版)		
				Office2013 以前の Personal	Access2013 (RT版)		